

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。



JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

SUBSCRIPTION CONCERTS

第752回
東京定期演奏会

サントリーホール

2023年7月7日(金) 19:00

7月8日(土) 14:00

2023

7

JUL



日本フィルハーモニー交響楽団



&

あれもこれも、
いい街にしよう。

たとえば、伝統と革新。都市と自然。

経済と文化。住む人と働く人。

あれかこれか、ではなく、あれもこれも。

私たち三井不動産は、

異なる概念やさまざまな人を結びつけて、

イノベーションや挑戦、

驚きや希望や愛といった、

新しい価値を次々と街に生み出していきたい。

そして街に集う人たちと一緒に、

その先の日常をつくっていきたい。

街は人とともに。

三井不動産の「&」の街づくりは続きます。

 **三井不動産**
MITSUI FUDOSAN



C

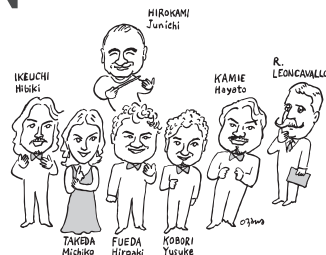
ONTENTS

目次

● プログラム	4
● 出演者プロフィール	6
● プログラム・ノート- 加藤 浩子 -	11
● 写真プレイバック- 2023年5、6月 -	15
● 第31回(2023年度)渡邊暁雄音楽基金 音楽賞・特別賞 受賞者発表	16
● あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ	18
● 感動の共有 ~ご支援のお願い~	23
● 日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名	24
● パトロネージュご芳名	28
● 新入団員紹介	30
● Member's TVU CHANNEL 配信一覧	31
● 次回東京定期演奏会 指揮者にインタビュー 山田 和樹編	32
● インフォメーション	34
● 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 名簿	35

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA 752nd SUBSCRIPTION CONCERTS

日本フィルハーモニー交響楽団
第752回 東京定期演奏会



サントリーホール Suntory Hall	2023年 7月7日(金)午後7時開演 / 8日(土)午後2時開演
	7:00p.m. 7th (Fri.) & 2:00p.m. 8th (Sat.), June 2023

主催 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
協賛 / 鹿島建設株式会社 三井不動産株式会社

表紙イラスト / 小澤 一雄

助成：
文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))
公益財団法人 花王芸術・科学財団
公益財団法人 三菱UFJ信託芸術文化財団
独立行政法人日本芸術文化振興会



感染予防のご案内

詳しくはこちらをご覧ください▶



*この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご要望の方は主催者までお申し出ください。

レオンカヴァッロ：歌劇《道化師》(演奏会形式/字幕付き) 約70分
Ruggero LEONCAVALLO: "I pagliacci"

休憩はございません

指揮：広上 淳一 [フレンド・オブ・JPO (芸術顧問)]

Conductor: HIROKAMI Junichi, Friend of JPO/Artistic Advisor

カニオ：笛田 博昭 ネットダ：竹多 倫子 トニオ：上江 隼人

Canio: FUEDA Hiroaki Nedda: TAKEDA Michiko Tonio: KAMIE Hayato

ベッペ：小堀 勇介 シルヴィオ：池内 響

Beppe: KOBORI Yusuke Silvio: IKEUCHI Hibiki

農民：岸野 裕貴、草刈 伸明

Contandio: KISHINO Yuki, KUSAKARI Nobuaki

合唱：東京音楽大学 児童合唱：杉並児童合唱団

Chorus: Tokyo College of Music Children Chorus: Suginami Junior Chorus

コンサートマスター：扇谷 泰朋 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster

字幕操作：Zimaku プラス

原 訳：アンナ 上山

字 幕：増田 恵子

♥ 演奏中のマナーにご協力をお願いいたします。

■ 演奏会をお楽しみいただくために
演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。また手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声などで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。

■ 電源OFF

アラームOFF 電源OFF



■ 声と拍手にご注意を

私 語 せ き



■ 周囲にご配慮を

身を乗り つばの広い/
出さない 高さのある帽子



■ 音にご注意を

ビニール袋 鉛の袋 マジックテープや 鈴などアクセサリ 補聴器の音
ファスナーの音 がついたストラップ



■ 撮影禁止

録音禁止 録画禁止 演奏中の写真撮影禁止





©Masaaki Tomitori

Conductor

指揮

広上 淳一

[フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)]

HIROKAMI Junichi, Friend of JPO/Artistic Advisor

東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。1984年、26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放送響、コンサートへボウ管、モンテリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィルのポストを歴任、このうちノールショピング響とは94年来日公演を実現、さらに米国ではコロバス響音楽監督を務めヨーヨー・マ、五嶋みどりをはじめ素晴らしいソリストたちとともに数々の名演を残した。

近年では、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、スイス・イタリア管、モンテカルロ・フィル、バルセロナ響、ビルバオ響、ポーランド国立放送響、スロヴェニア・フィル、サンクトペテルブルク・フィル、チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ、ラトビア国立響、ボルティモア響、シンシナティ響、ヴァンクーヴァー響、サンパウロ響、ニュージーランド響等へ客演。国

内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団にもたびたび招かれ絶賛を博している。オペラ指揮の分野でもシドニー歌劇場デビューにおけるヴェルディ《仮面舞踏会》、《リゴレット》が高く評価されたのを皮切りに、グルック、モーツァルトからプッチーニ、さらにオスバルト・ゴリホフ《アイナダマール》の日本初演まで幅広いレパートリーで数々のプロダクションを成功に導いている。

2008年より京都市交響楽団常任指揮者、14年よりミュージック・アドヴァイザーも兼務。15年には同団と共にサントリー音楽賞を受賞。20年より常任指揮者兼芸術顧問、14年間にわたり京都市交響楽団と共に輝かしい時代を築いた。現在、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティスティック・リーダー、日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一、京都コンサートホール館長。また、東京音楽大学指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。



Tenor

テノール

笛田 博昭

FUEDA Hiroaki

名古屋芸術大学卒業、同大学大学院修了。第9回マダム・バタフライ世界コンクール(モルドヴァ大会)第1位ほか多数受賞。名古屋芸術大学特別公演《トゥーランドット》のカラフで鮮烈なオペラデビューを飾る。以降、藤原歌劇団《ボエーム》ロドルフォ、《蝶々夫人》ピンカートン、《リゴレット》マントヴァ公爵、《イル・トロヴァトーレ》マンリーコをはじめ、数多くのオペラにプリモテノールとして

出演。その他、「第九」「レクイエム」等、各種コンサートに出演し好評を得るなど、日本を代表するテノールとして活躍中。'23年藤原歌劇団公演《ファウスト》にタイトルロールで出演予定。'08年愛知県芸術文化選奨文化新人賞受賞。第20回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。藤原歌劇団団員。



©深谷 義宣

Soprano

ソプラノ

竹多 倫子

TAKEDA Michiko

愛知県立芸術大学卒業、東京藝術大学大学院修了。第47回日伊声楽コンクール第1位及び歌曲賞。第82回日本音楽コンクール第1位及び岩谷賞、E.ナカミチ賞。オルヴィエート国際声楽コンクール優勝。文化庁新進芸術家海外研修制度及び五島記念文化賞オペラ新人賞により渡伊。ミラノ、ヴェローナにて研鑽を積む。その間、マンチネッリ歌劇団《蝶々夫人》タイトルロールにてイタリアでオペラ・デビューを果たす。国内では日生劇場《ルサルカ》タ

イトルロール等を演じている他、2021年二期会デビューとなった《タンホイザー》ではエリーザベトを演じ、磨き上げられた豊かな声と気品ある演唱で高い評価を得、本年2月には各方面から話題を呼んだ、二期会《トゥーランドット》リユでも絶賛を博した。また「第九」等のコンサートソリストとしても全国各地のオーケストラと共演している。令和3年度石川県文化奨励賞受賞。本年10月、二期会《ドン・カルロ》エリザベッタにて出演予定。二期会会員。



Baritone

バリトン

上江 隼人

KAMIE Hayato

東京藝術大学卒業、同大学大学院修了。'05年に第34回(財)江副育英会オペラ奨学生として、'08年に明治安田クリオティブ財団の奨学生として渡伊。'06年ディマーロの“Val di sole”イタリア音楽コンクール優勝。新国立劇場《アンドレア・シェニエ》ルーシェ、日生劇場《セビリアの理髪師》フィガロ等に出演。藤原歌劇団には、《椿姫》のジェルモンで初登場し、《ボエーム》マルチェッロ、《リゴレット》

《ジャンニ・スキッキ》の各タイトルロール、《イル・トロヴァトーレ》ルーナ伯爵で出演。国内外で高い評価を得るバリトンの逸材として、注目を集めている。'23年藤原歌劇団公演《二人のフォスカリ》フランチェスコ・フォスカリで出演予定。第24回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。藤原歌劇団団員。



Tenor

テノール

小堀 勇介

KOBORI Yusuke

国立音楽大学声楽専攻ならびに同大学院声楽専修オペラ・コースを首席で修了。新国立劇場オペラ研修所第15期修了。2016年、文化庁新進芸術家海外研修制度研修員としてイタリアに留学。ロッシーニの世界的権威であるアルベルト・ゼッダ氏のもとで研鑽を積む。チロル祝祭歌劇場にて《アルジェのイタリア女》リンドー口役でヨーロッパ・デビュー。2017年に帰国し、びわ湖ホール《連隊の娘》トニオ役を皮切りに、藤原歌劇団《チェネレン

トラ》ドン・ラミー口役、日生劇場《愛の妙薬》ネモリーノ役、《セビリアの理髪師》アルマヴィーヴァ伯爵役などベルカント・オペラ作品に次々と出演を重ねている。2019年第88回日本音楽コンクール声楽部門第1位。2023年は日越外交関係樹立50周年記念・新作オペラ・プロジェクト《アニオー姫》荒木宗太郎役に抜擢され、9月にハノイで世界初演されるほか、数々のオペラ作品や演奏会への出演を予定している。日本ロッシーニ協会会員。



Baritone

バリトン

池内 響

IKEUCHI Hibiki

©T.Tairadate

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修士課程音楽研究科声楽(オペラ)専攻修了。2015年、日生劇場《ドン・ジョヴァンニ》タイトルロールでオペラ・デビュー。2017年に渡伊。ミラノで研鑽を積み、2018年に第56回ヴェルディの声国際コンクール入選。2019年には、第20回リヴィエラ・エトウルスカコンクール、第5回G. B.ルビーニ国際コンクール、そして第10回サルヴァトーレ・リチートラ声楽コンクールにそれぞれ優勝。同年、イタリア・オルテ市およびマッサ・マリッティ

マ市主催「リリカ・イン・ピアッツァ」にて《ラ・ボエーム》マルチェッロ役でヨーロッパ・デビュー。帰国後、2021年、日生劇場《ラ・ボエーム》マルチェッロ役で出演し絶賛された。2022年、第20回東京音楽コンクール第1位及び聴衆賞を受賞。2023年は宮崎国際音楽祭『仮面舞踏会』レナート役をはじめ、各地で開催されるベートーヴェン「第九」公演への出演が予定されている。37回姫路市芸術文化奨励賞、第25回坂井時忠音楽賞、2020年兵庫県芸術奨励賞の各賞を受賞。



Chorus

合唱

東京音楽大学

Tokyo College of Music

東京音楽大学合唱団は「合唱」授業科目の履修者から選抜された学部生と声楽専攻の大学院生を中心に構成する混声合唱団で、国内外の著名オーケストラと数多くの共演を果たしている。

日本フィルハーモニー交響楽団との共演は、「第九」を始めとして1979年以来40年以上の歴史を持つ。2020年以降の共演においては感染症対策に伴い合唱団の人数が大幅に制限される中、同楽団と今までにない「第九」の歓喜を表現することができた。

他に2019年11月にNHK音楽祭「シンフォニック・ゲーマーズ4」、2021年6月に「めぐろで第九2020+1」、2022年8月に「フェスタサマーミュージカKAWASAKI 2022」に出演。2023年には日本フィルハーモニー交響楽団「クレルヴォ」第九「道化師」に出演の他、東京音楽大学「学内「第九」演奏会」にて広上淳一氏と共演する。

合唱指導は2022年度より、志村文彦、藤牧正充、浅井隆仁の各氏に加え、フレンドリー・アドバイザーとして広上淳一氏を迎えている。



Children Chorus 児童合唱

杉並児童合唱団

Suginami Junior Chorus

1964年に誕生。杉並児童合唱団(杉児)の演奏活動において常に目標としている「楽しい演奏」を上げるために、児童合唱にとって未知の分野であった「合唱ミュージカル」、映画音楽・ポップスなどをアレンジした「ポピュラー曲」の開発にも力を注ぎ、数多くの作品を委嘱・発表。また世界の民謡やピアノ曲・交響曲などを効果的な児童合唱曲に編曲。クラシックの素晴らしさをより身近に親しみやすく伝えている。

主な演奏活動は東京での定期演奏会

とスプリングコンサートの他、全国各地への演奏旅行(招聘)、オペラ出演、教材・CMソングなどのレコーディング、映画・TV番組・CM出演などがある。現在、3歳から大学生まで約230名が在団する。

杉児は2024年に創立60周年の節目を迎える。脈々と受け継がれてきた変わらぬ歌声とともに、児童合唱界のリーダー的存在として常に新しい演奏を目指し、さまざまなメディア・舞台へと活動の幅を広げている。

5分でわかる! 大人のための オーケストラ入門

YouTube



たった5分で演奏会が10倍楽しくなる、月に2回の日本フィルYouTube番組。音楽評論家奥田佳道さんが、映画プロデューサー村上典史子さんの質問にわかりやすく答えます。9月公演からは内容もリニューアル!たくさんありすぎてどれに行けばいいかわからない!という方、今月のイチオシをさまざまなテーマでお届けします。9月公演のイチオシは7月10日、17日に配信予定です。

※内容やタイトルが変更になる可能性があります

本日の公演の「5分でわかる!大人のためのオーケストラ入門」は現在公開中です!

❁ プログラム・ノート 解説:加藤 浩子 ❁

◆ レオンカヴァッロ:歌劇《道化師》

あらすじと聴きどころ()内。重要なライトモチーフも含める

プロローグ

幕開けに相応しい賑やかな前奏は、劇中随一の名曲〈衣装をつける〉の一節や、「愛の動機」のメインテーマを挟みながら進行する。前奏が一段落すると、道化のトニオがこれから始まるドラマについて前口上を述べる(くよろしいですか?紳士淑女の皆さま)。「真実に靈感を得て描かれた物語」というくだりに、物語の成立に関するレオンカヴァッロの主張の反映だろう(詳しくは後述)。

第1幕

1865-70年ごろ、8月15日の聖母被昇天祭の日。南イタリア、カラブリア州モンタルト村の近郊。座長のカニオが率いる旅回りの芝居一座が到着し、村人の歓声に迎えられる(導入の合唱〈こっちだ!戻ってきたぞ!〉(以下同))。看板女優のネッダはカニオの妻。孤児だったがカニオに拾われて育てられ、成長した後に妻になり、一座に加わっているのだった。

背中に瘤のある醜い道化師トニオもまた、ネッダに恋心を抱いていた。そのことを仄めかされたカニオは、劇中はともかく実生活では妻の浮気は許さないと彼女への執着を剥き出しにする(「嫉妬の動機」)。夫の嫉妬に、ネッダは背筋を凍らせる。年長で独占欲の強いカニオにうんざりしていたネッダは、村の若

者シルヴィオと恋仲になっていたのだ。カニオから解放されることを夢見るネッダは、空を飛ぶ鳥の姿に憧れ、あのようになりたいたいと歌う(バラテッラ〈空でさえずる鳥のように(鳥の歌)〉)。

トニオは、カニオが村人と飲みに行った隙にネッダに言い寄るが相手にされず、鞭で打たれて復讐を誓う(「復讐の動機」)。

シルヴィオが忍んできた。愛を確かめ合い、今夜の駆け落ちを約束する二人(二重唱〈シルヴィオ、こんな時間に)。「愛の動機」が聴かれる)。そこへトニオに連れられてカニオがやってきた。「今夜ね、そうしたら永遠にあなたのもの」(「愛の動機」)という妻の言葉にカニオは我を忘れて飛び出し、シルヴィオを追うが逃げられる(「嫉妬の動機」)。嘲笑うトニオ(「復讐の動機」)。カニオは妻に相手の名前を言えと迫るが、ネッダは口を割らない。「芝居が始まる」と同僚のペッペに告げられ、カニオは悲しみを隠して道化を演じなければならない悲哀を歌う(カニオのアリオソ〈衣装をつける)〉)。

〈間奏曲〉 〈プロローグ〉〈衣装をつける〉など、これまでの代表的なメロディが回帰する。

第2幕

開演を告げる太鼓が鳴らされ、芝居(=「コンメディア」)が始まった。お決まりのキャラクターが即興も交えた芝居を繰り広げる「コンメディア・デラルテ」だ(このような芝居の定番である舞曲「メヌエット」が聴かれる)。道化師パリアッチョの妻コロンビーナは、夫の留守中に恋人のアレッキーノと逢引きをしている(アレッキーノのセレナード〈おお、コロンビーナ〉(以下同))。パリアッチョが帰ってきたのでコロンビーナは慌ててアレッキーノを隠し、「今夜ね、そうしたら永遠にあなたのもの」とささやく(「愛の動機」)。それは偶然、先ほどカニオが聞いたネッダの別れの言葉と一緒だった(「嫉妬の動機」)。頭に血が上ったカニオは芝居と現実を混同して逆上し、男の名を言えとネッダに迫る(「いや、俺はパリアッチョじゃない」)。観客は沸くが、次第にカニオが本気と知って恐れを抱く。激しい応酬の果てにカニオはネッダを刺し、たまらず現れたシルヴィオも手にかける。呆然と佇むカニオの横で、トニオがつぶやく。「これで喜劇は終わりです」。

登場人物

カニオ(テノール) 道化芝居一座の座長。妻のネッダを溺愛している。劇中劇のパリアッチョ(=道化師)。
ネッダ(ソプラノ) カニオの妻。一座の花形女優。劇中劇のコロンビーナ。
トニオ(バリトン) 道化。醜い体のため

劣等感を抱いているが、ネッダに恋している。劇中劇のタッデオ。
シルヴィオ(バリトン) 村の若者。ネッダの恋人。
ベッペ(テノール) 一座の俳優。劇中劇のアレッキーノ。

作品解説

《道化師》(1892年初演)は、世紀末から20世紀にかけて活躍したイタリアの作曲家、ルッジェーロ・レオンカヴァッロ(1857-1919)の20曲を数える音楽劇(オペラ、オペレッタ)の中で最も成功した作品であり、ピエトロ・マスカーニの《カヴァレリア・ルスティカーナ》(1890年初演)と並んで、イタリア・オペラのいわゆる「ヴェリズモ(verismo=真実主義)」を代表する傑作として知られる。ともに寒村の住人や旅芸人といった下層階級の情痴事件を扱い、ダイレクトな感情表現を厭わない、ある意味「身も蓋もない」作品だ。それまでのイタリア・オペラを牽引したジュゼッペ・ヴェルディ(1813-1901)も人間の激しい感情を描いたが、物語は《椿姫》など一部を除いて古典的だった。だが《カヴァレリア》や《道化師》は、ほぼ同時代の、そしてそれまではイタリア・オペラに登場することのなかった下層階級の(フランス・オペラにはロマと兵士の恋愛沙汰を扱った《カルメン》があった)、現実にあった事件に基づいたリアルな物語だった。同時代のシチリア(《カヴァレリア》)や南イタリアの寒村(《道化師》)が舞台になったのも初

めてだったが、これはイタリア統一により、それまで知られていなかった「南」がクローズアップされた結果でもあった。

2作が似通っているのには理由がある。《道化師》は、《カヴァレリア》の成功を受けて書かれた作品なのである。《カヴァレリア》は、出版社ソントオーニョが主催した1幕もののオペラコンクール最終候補に残り、審査を兼ねて初演され、成功を収めた。判事を父に画家を母にナポリで生まれ、同地の音楽院とボローニャに学んだ後は、ピアノ弾きとして生計を立てながらエジプトや中東、パリなどを点々とする合間にオペラを書いていたレオンカヴァッロは、《カヴァレリア》の登場に衝撃を受けた。ボローニャでワーグナーの《ローエングリン》のイタリア初演を観、同地でワーグナーに遭遇もして以来ワグネリアンになっていたレオンカヴァッロはワーグナー風のオペラを書いていたが、それを傍へ置いて《道化師》に取りかかり、台本、作曲を5か月で完成させてソントオーニョ社に持ち込んだ。文才にも恵まれていたレオンカヴァッロは自作の音楽劇の大半の台本を自分で書いたが、《道化師》はその最も成功した例となった。当初は1幕構成だったが、作曲する過程で現実生活と劇中劇を分けるために2幕にしている。

レオンカヴァッロの才能を認めたソントオーニョ社は、本作を世に出すことを決定。作者の旧知で、初演のために尽力し、初演でトニオを歌ったスター・バリトンのヴィクトル・モレルの要望でプロロー

グに彼のソロを加え、タイトルも、自分の役柄を印象付けたいモレルの意見を入れて複数形の《道化師 I Pagliacci》となった。だが内容を考えれば、《道化師》のタイトルは複数形より単数形 Pagliaccio (=カニオ)の方がふさわしい。本作は典型的な「プリモ・ウォーモ・オペラ(男性主人公が中心のオペラ)」であり、ドラマティックな歌唱が求められるカニオ役は、テノールの極限の役の一つに数えられている。

《道化師》は1892年5月21日、ミラノのダル・デルメ劇場で、25歳の若きアルトゥーロ・トスカニーニの指揮で初演されて華々しい成功を収め、35歳のレオンカヴァッロは一夜にして時の人になったのだった。

《カヴァレリア》は、ジョヴァンニ・ヴェルガの同名の小説を下敷きになっているが、ヴェルガは実際に起こった事件に基づいて小説を書いた。《道化師》もまた、作者の主張を信じるなら実際の事件に刺激されて生まれている。判事の父がモンタルトに赴任している時、ある兄弟が女性を巡って芝居帰りの22歳の若者を殺す事件が起こったのだ。だがこの事件をオペラ《道化師》の物語に膨らませるには、相当なフィクションを加える必要がある。

《道化師》が1894年にパリでフランス初演された後、レオンカヴァッロはフランスの作家カテュル・マンデスから剽窃のかで訴えられる。マンデスの作品『タバランの妻』(1887)とストーリーが

酷似しているというのだった。レオンカヴァッロはストーリーは全て自分の記憶に基づくもので、逆にマンデス作品がマヌエル・タマーヨ・イ・バウスの『新演劇』(1867)に似ていると反論した。

「タバラン」は17世紀に実在し、パリに小さな野外劇場を構えて芝居を上演していた実在の道化師で、19世紀、パリの劇場で「道化師」という題材がブームになった時に再発見され、人気のキャラクターになって、演劇をはじめオペラやオペレッタ、オペラ・コミックの舞台上で活躍していた。マンデスの劇『タバランの妻』(シャブリエによる劇中音楽がついていた)は、1887年にパリのモンパルナス劇場で初演され、大成功を収めている。1882年から1888年にかけてパリに滞在し、パリの芸術家たちとの交流もあったレオンカヴァッロが、マンデス作品や「タバラン」の人気を知っていた可能性は極めて高い。『タバランの妻』では、劇中劇でタバランが不貞を働いた妻を殺す設定になっており(他の「タバランもの」にもこの設定はある)、レオンカヴァッロがこのアイデアを取り入れた可能性は否定できない。

劇中の有無はさておき、『道化師』が傑作であることに変わりはない。レオンカヴァッロは登場人物の生々しい感情を、場面と感情に相応しい音楽で描き切っている。独唱の形態は極めて自由だが、イタリア・オペラの伝統である歌唱的な旋律美は保たれ、オーケストラは雄弁で、ライトモチーフも効果的に取り入

れられている。何より巧みなのは劇中劇の生かし方で、現実の登場人物と劇中劇の人物の設定が重なり合うので、劇と現実の境目がなくなることに極めて説得力がある。劇中劇はイタリアの伝統的な仮面劇「コンメディア・デラルテ」に設定されており、音楽もそれに応じた古典的なスタイルで、リアルなドラマに付された劇的な音楽との対比も絶妙だ。

イタリア・オペラにおける真の「ヴェリズモ」(題材も人物も庶民的な作品)は《カヴァレリア》と《道化師》に始まり、この2作でほぼ終わった。オペラハウスの観客にとっては遠い存在でしかない南イタリアの旅芸人がオペラの舞台上で登場して人気を博すことは、もうない。

なお、「これで喜劇は終わりです」という最後の1行は初演の時はトニオが歌ったが、その後レオンカヴァッロ本人も関わった再演に際してカニオに変更され、楽譜も両方のヴァージョンがある。今回はどちらが歌うのかと想像するのも、本作鑑賞の楽しみの一つである。

楽器編成: 独唱ソプラノ1、独唱テノール2、独唱バリトン2、合唱、児童合唱、フルート3(ピッコロ持替1)、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット3、ホルン4、トランペット4、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、チューバ1、ティンパニ、大太鼓、シンバル、トライアングル、銅鑼、グロッケンシュピール、チューブラーベル、ハープ2、弦楽5部

Playback

プレイバック

5月～6月の公演を振り返ります



PHOTO 1

9月に首席指揮者に就任するカーチュン・ウォンとの東京定期演奏会。ミヤスコフスキーの交響曲第21番、芥川也寸志の《コンチェルト・オスティナート》(チェロ: 佐藤晴真)、ヤナーチェクのシンフォニエッタという意欲的なプログラムをお届けしました。パンダがずらりと並ぶシンフォニエッタの写真をどうぞ!*



PHOTO 2

5月さいたま定期演奏会はマエストロ・インキネンと大迫力のシベリウス、そして成田達輝さんと共にベートーヴェンの大曲をお届けしました。マエストロ、コンマスの扇谷、チェロの菊地、ヴィオラの安達と、成田を囲んでパシャリ!*



PHOTO 3

インキネン首席最後の演奏会となった「横浜定期演奏会」と「名曲コンサート」は、ベートーヴェンの第九!ソリストの皆様と横浜定期演奏会終演後に記念撮影。そして名曲コンサート終演後のフェアウェル・パーティでのお写真もどうぞ。初共演から15年。たくさんの思い出が蘇ってきます。キートス!マエストロ・インキネン!*



©藤本史昭



PHOTO 4

5月杉並公会堂シリーズは早々に完売!客席いっぱいのお客さまの前で演奏できる幸せをかみしめました。いつもスタイリッシュな指揮の夫友直人マエストロとモーツァルト:ピアノ協奏曲第24番を透明な美しい音色で奏でた牛田智大さん。フィナーレは日本フィル大迫力の《ボレロ》で締めくくりました



PHOTO 5

6月横浜定期演奏会とコバケン・ワールドは小山実稚恵さんをゲストに迎えて。前日からの荒れたお天気で心配しましたが、無事台風も過ぎ去りました。ダイナミックなチャイコフスキーPf協奏曲をご一緒した小山実稚恵さんと小林研一郎マエストロ&コンマスの田野倉のスリーショットをどうぞ!

*印のアーカイブ配信はMember's TVU CHANNELで。
<https://members.tvuch.com>



渡邊暁雄音楽基金 音楽賞・特別賞受賞者発表

「渡邊暁雄音楽基金 音楽賞・特別賞」過去の受賞者一覧

音楽賞 なし

特別賞 田中正樹

略歴 札幌市出身。高校卒業後から札幌交響楽団のステージ業務に携わり始め、1995年4月に正式入団。ライブラリアンを務めた後、2008年1月よりステージマネージャー兼ライブラリアン、同年10月からステージマネージャー。2008年9月開催《札幌交響楽団第511回定期演奏会 特別企画 プリテン/歌劇「ピーター・グライムズ」》や、2011年札幌交響楽団創立50周年記念ヨーロッパ公演及び2015年台湾公演等、多くの公演を成功に導いた。明るく朗らかで、誠実に細やかな気配りのできる人柄と、研究熱心で常に最善の環境を作り上げる努力を惜しまない献身的な姿勢から、多くの音楽家から愛され、オペラ・バレエ等の芸術団体からも信頼を得ている。病と闘いながらも昨年未までステージを支え続けた。2023年2月3日、57歳で永眠。



*** 授賞理由 ***

田中正樹氏は1995年(平成7年)にライブラリアンとして札幌に入団。当初から温厚で機知に富む持ち前のキャラクターにより、楽員の全幅の信頼を得られました。次第に楽譜のみならず、演奏のサポートもされるようになり、2008年(平成20年)ステージマネージャーに就任。以来抜群の才能を発揮され、事前の準備や舞台設定、練習から演奏会までの円滑な進行はもちろん、ステージ裏の緊張をほぐし出演者が安心して演奏に集中できるよう献身的に支えられ、札幌の演奏活動全体を常に明るく楽しく導いてくださいました。病を得られてからも、変わることなく業務にあたってこられました。2023年(令和5年)2月に57歳で惜しくも逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げますとともに、田中氏に感謝し、業績を深く長く記憶するために渡邊暁雄音楽基金特別賞を贈呈いたします。

「公益信託 渡邊暁雄音楽基金」について

日本指揮界の重鎮、故・渡邊暁雄先生の日本音楽文化に残した多大な業績を積極的な形で今後引き継ぎ、我が国の音楽界の発展に寄与することを願い1992年6月22日に設定された。この公益信託は、信託設定の趣旨に基づき、「渡邊暁雄音楽基金音楽賞・特別賞」を設置して次代の音楽界を担う優秀な指揮者、およびオーケストラ界に貢献した関係者の顕彰を行い、もってわが国の音楽文化発展に寄与することを目的とする。

公益信託 渡邊暁雄音楽基金 運営委員会

運営委員長 田邊 稔 (公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 元理事長)
 運営委員 尾高 忠明 (指揮者)
 後藤 朋俊 (公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 常務理事)
 高関 健 (指揮者)
 東条 碩夫 (音楽評論家)
 藤岡 幸夫 (指揮者)
 渡邊 康雄 (ピアニスト)

第1回(1993年度)	音楽賞:大野 和士	特別賞:延命 千之助
第2回(1994年度)	音楽賞:広上 淳一	特別賞:村川 千秋
第3回(1995年度)	音楽賞:該当者なし	特別賞:小川 昂/鈴木 清三/田中 諄
第4回(1996年度)	音楽賞:高関 健	特別賞:該当者なし
第5回(1997年度)	音楽賞:該当者なし	特別賞:佐治 敬三
第6回(1998年度)	音楽賞:金 洪才	特別賞:石丸 寛
第7回(1999年度)	音楽賞:沼尻 竜典	特別賞:松原 千代繁
第8回(2000年度)	音楽賞:大友 直人	特別賞:長岡 實/江藤 俊哉
第9回(2001年度)	音楽賞:該当者なし	特別賞:該当者なし
第10回(2002年度)	音楽賞:下野 竜也/藤岡 幸夫	特別賞:上原 正二
第11回(2003年度)	音楽賞:佐渡 裕	特別賞:渡邊 正治/山本 直純
第12回(2004年度)	音楽賞:阪 哲朗	特別賞:三善 晃
第13回(2005年度)	音楽賞:飯森 範親	特別賞:草刈 津三
第14回(2006年度)	音楽賞:該当者なし	特別賞:大川内 弘/金山 茂人
第15回(2007年度)	音楽賞:上岡 敏之	特別賞:小野寺 昭爾/田副 正武/ 日本フィル九州公演連絡会議
第16回(2008年度)	音楽賞:該当者なし	特別賞:岩城 宏之
第17回(2009年度)	音楽賞:該当者なし	特別賞:ジャン・フルネ/ 財団法人アフィニス文化財団
第18回(2010年度)	音楽賞:該当者なし	特別賞:若杉 弘/日本近代音楽館
第19回(2011年度)	音楽賞:該当者なし	特別賞:小澤 征爾 特別支援:仙台フィルハーモニー管弦楽団
第20回(2012年度)	音楽賞:山田 和樹	特別賞:中藤 泰雄
第21回(2013年度)	音楽賞:該当者なし	特別賞:永田 穂
第22回(2014年度)	音楽賞:該当者なし	特別賞:児玉 幸治
第23回(2015年度)	音楽賞:川瀬 賢太郎	特別賞:ユベール・スダーン/ 秋山 和慶
第24回(2016年度)	音楽賞:該当者なし	特別賞:アレクサンドル・ラザレフ/ 池辺 晋一郎/井上 道義
第25回(2017年度)	音楽賞:該当者なし	特別賞:外山 雄三/堤 剛
第26回(2018年度)	音楽賞:該当者なし	特別賞:エアアフ・インバル
第27回(2019年度)	音楽賞:該当者なし	特別賞:本名 徹次/山田 正幸
第28回(2020年度)	音楽賞:沖澤 のどか	特別賞:豊田 泰久
第29回(2021年度)	音楽賞:鈴木 優人/原田 慶太楼	特別賞:該当者なし
第30回(2022年度)	音楽賞:太田 弦	特別賞:飯森 泰次郎

あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、 あらゆる地域へ、世界へ

杉並区と日本フィルとの友好提携は今年で29周年

「音楽を通した(杉並)区民の豊かな交流と地域文化の振興に向けて互いに協力すること」を目的として、杉並区と日本フィルは平成6年7月に「友好提携」を結びました。主な取組みとして、杉並公会堂でのオーケストラ活動は

- ①杉並公会堂シリーズ(一般向け)
- ②音楽鑑賞教室(杉並区内小学生・中学生向け)
- ③エデュケーション・フェスティバル(家族向け)
- ④公開リハーサル(一般向け)

室内楽編成でのアウトリーチ活動は

- ⑤杉並区役所ロビーコンサート
- ⑥出張音楽教室【小中学校での室内楽】
- ⑦出張コンサート【児童館・高齢者施設等での室内楽】
- ⑧各種交流イベント・ワークショップへの出演

等があります。

～指揮者とオーケストラとの共同作業を間近に体験～ 公開リハーサル

年に4回程実施している「公開リハーサル」は、事前申込制で毎回、定員に近い550人以上が詰めかける大人気の事業です。

リハーサルは本番のコンサートへ向け、指揮者と演奏者で曲を仕上げていく過程を体験できる点が魅力です。

指揮者も演奏者も普段着で、時折、指揮者のユーモア溢れる指示が舞台の空気を和ませることもあります。限られた時間で自身の思い描く曲のイメージを演奏者に伝えようとする指揮者と、それに最大限応えようとする演奏者との真剣なやりとりを経て、楽曲に命が宿っていくような感覚が味わえます。帰りがけに「本番も聴きたくなったので当日券ありますか」とうれしい問い合わせをいただくこともあります。



▲2023年4月の公開リハーサル



想像を、チカラに。

～身近な場所での小粋な生演奏に、ふと足を止める昼下がり～ 杉並区役所ロビーコンサート

転出入の手続きや住民票・印鑑証明書の取得など、区民生活に欠かせないのが区役所ですが、年に4回程、昼休みの12時10分になると、ロビーから柔らかく心を和ませる楽器の調べが流れてきます。

約40分間のアンサンブルで、クラシックの小品から、映画音楽、アニメソングに昭和歌謡まで。

コロナ禍では弦楽四重奏が中心でしたが、2023年5月には久しぶりに木管五重奏をお楽しみいただきました。

毎回楽しみにされて開演の1時間以上前からお待ちいただいている方もおり、熱心なお客様の反応を身近に感じられるので、演奏者も選曲に工夫を凝らしつつ意欲的に参加しています。

音楽を通した区民の方々との交流が長く続いています。



▲コロナ禍で、客席の間隔を空けた杉並区役所ロビーコンサート



▲コロナ明けで、通常の客席に戻った杉並区役所ロビーコンサート

人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
in 鹿島

心が躍る、味わいを。

美しい音楽は、心を豊かにし、
特別な時間を与えてくれる。
私たちハウス食品グループは、
心が躍る音楽のように
食を通じて人生を喜びあふれるものにしたい。
人と笑顔をつなぐ、
皆さまのグッドパートナーを目指して。



暮らしを彩る、レイノーの輝き。

1849年、フランスリモージュ地方で生まれたレイノー。
創業以来、フランスを始め世界各国の王室や著名なレストランと
共に歩んできました。エレガントな輝きとこだわりのデザインは、
今も多くの人々から愛されています。


ERCUIS RAYNAUD

エルキューイ・レイノー 青山店
東京都港区北青山3-6-20 KFIビル2F
Tel.03-3797-0911 <https://ercuis-raynaud.jp>
ハウス食品グループ本社株式会社は、レイノー社製品の総輸入販売代理店です。

ホームページは
こちらから



食でつなぐ、人と笑顔を。

 **House** ハウス食品グループ



最高級のアコースティックを誇る

杉並公会堂 Suginami Koukaidou



日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。



日本フィル杉並公会堂
シリーズ公演より



春休みオーケストラ探検より
楽器体験



公開リハーサル

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15
Tel: 03-3220-0401
<http://www.suginamikoukaidou.com/>
※運営会社：(株)京王設備サービス

日本フィルを支えてくださる皆様に、
心より御礼申し上げます。

日本フィルは多くの方々の支えを基に、年間150回を超える演奏会を中心とした多彩な活動を行っております。質の高い演奏を継続してお届けするため、また、音楽を通して「豊かな社会」の実現の一翼を担う活動をいっそう推進するために、幅広い皆様のお力によって経済的基盤を強化することを願っております。

演奏によって皆様とつながり、皆様とともに豊かな社会を実現する担い手となることを願い、「オーケストラ・コンサート」「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動を行い、音楽を通して文化を発信しています。

私達は、日ごろの活動を通して、音楽とはネットワーク、コミュニケーションの力によって広がり、喜びがより深くなるものだと実感しております。日本フィルの楽団員一同は、音楽によって人と人が繋がる喜びをもっとも理解する音楽集団として、人の心の温かさを、演奏に乗せて届けます。

日本フィルの活動を維持・発展させるためには、自助努力ももちろん大切です。引き続き経営面での努力を重ねます。

しかしいっぽう、文化の事業には継続性が大切です。こんにちの日本において、安定した活動を継続するためには皆様からいただくご寄付、ご支援が欠かせません。日本フィルは今後、様々なコミュニティの皆様とともに多彩な活動を行っていきたいと考えております。

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものとなっております。日本フィルも、その一翼を担う存在として、皆様とともにその社会的役割をさらに充実させてまいりたいと考えております。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長 平井 俊邦

■お振込みでのご寄付

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額 を
メール donation@japanphil.or.jp まで
お知らせください。

【お振込先口座】

三菱UFJ銀行 高円寺支店(支店コード:155)
普通預金 0242402

公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

■オンライン寄付

日本フィルの公式ホームページから
クレジットカードによりご寄付いただけます。

右のQRコードから
ご寄付のサイトを
ご覧いただけます。

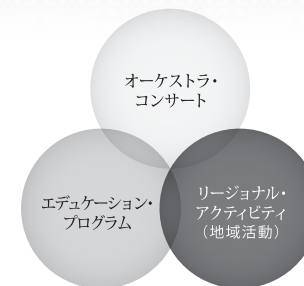


ご寄付をいただきました方には、
後日寄付金受領書等をお送りいたします。

感動の共有 日本フィルハーモニー交響楽団

文化の発信

日本フィルは、
質の高い音楽をお届けする《オーケストラ・コンサート》
音楽との出会いを広げる《エデュケーション・プログラム》
そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる
《リージョナル・アクティビティ》という
三つの柱で活動を行い、
音楽を通して文化を発信しています。



今月から下記の方々よりご支援をいただくことになりました。(敬称略)

バトロネージュ 石津 寿恵 東京都 / 空田 幸徳 東京都

日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。詳しくは左のページをご覧ください。

バトロネージュ [個人寄付会員]

プログラム誌へのご芳名掲載などの特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。
年会費:3万円/5万円/12万円/20万円/50万円/100万円

日本フィル・サポーターズクラブ

音楽に関心を持つ皆様に日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、
主催公演チケット優先受付・優待(1割引)など様々な特典があります。
年会費:1万円

特別会員 [法人寄付]

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。寄付金額を損金に算入することができます。

遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

お問い合わせ:日本フィル事務所 TEL03-5378-6311(10-18時、土日祝日休)

日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名

株式会社IDホールディングス
代表取締役社長 船越 真樹

株式会社アイレ 代表取締役社長 荒江 健

アイング株式会社 代表取締役会長 飯嶋 庸夫

赤坂維新號 代表取締役社長 鄭 東静

あすか製菓株式会社 代表取締役社長 山口 惣大

株式会社アトックス 代表取締役社長 矢口 敏和

株式会社アドービジネスコンサルタント
代表取締役社長 池田 昭司

イソーソリューションズ株式会社
代表取締役社長 佐々木経世

株式会社泉商会 代表取締役社長 八方 淑夫

株式会社泉放送制作 代表取締役社長 日下部恵一

磯野不動産株式会社 代表取締役社長 磯野 計一

稲畑産業株式会社 相談役 稲畑 勝雄

株式会社インフォーマート 代表取締役社長 中島 健

株式会社内田洋行 代表取締役社長 大久保 昇

内野株式会社 代表取締役社長 内野 信行

宇部エクシモ株式会社 代表取締役社長 古賀 源二

株式会社AIT 代表取締役社長 大熊 克美

ABCシステム株式会社 代表取締役社長 児玉 光宏

株式会社エイブル&パートナーズ
代表取締役会長兼社長 佐藤 茂

株式会社エヌエフホールディングス
代表取締役会長 高橋 常夫

NGB株式会社 代表取締役社長 宮崎 潔

エヌビーエス株式会社 代表取締役会長 飯嶋 一晃

株式会社エルイーテック 代表取締役社長 坂田 洋一

エレコム株式会社 代表取締役会長 葉田 順治

大隅ミート産業株式会社 代表取締役社長 小森 浩一

株式会社大場造園 代表取締役社長 大場 二郎

株式会社岡三証券グループ 取締役会長 加藤 哲夫

小川香料株式会社 代表取締役社長 小川 裕

公益財団法人オリックス宮内財団
代表理事 宮内 義彦

株式会社カカクコム 代表取締役社長 畑 彰之介

鹿島建設株式会社 代表取締役会長 押味 至一

鹿島建物総合管理株式会社
代表取締役社長 山本 和雄

鹿島道路株式会社 代表取締役社長 吉田 英信

株式会社カナック企画 代表取締役 金子高一郎

株式会社歌舞伎座 代表取締役社長 安孫子 正

株式会社ガモウ 代表取締役 蒲生 茂

社会医療法人河北医療財団 理事長 河北 博文

川北電気工業株式会社 取締役社長 大津 正己

北野建設株式会社 代表取締役会長兼社長 北野 貴裕

キッコーマン株式会社
代表取締役社長COO 中野祥三郎

キャノン株式会社
代表取締役会長 兼 社長 CEO 御手洗富士夫

キューピー株式会社
代表取締役 社長執行役員 高宮 満

株式会社協和日成 代表取締役社長 川野 茂

キリンホールディングス株式会社
代表取締役社長 磯崎 功典

株式会社きんでん 取締役社長 上坂 隆勇

株式会社九曜社 代表取締役社長 望月 耕次

グリーン・サポート・システムズ株式会社
代表取締役 笛木 彰

グローブシップ株式会社 代表取締役社長 矢口 敏和

京王重機整備株式会社 代表取締役社長 寺田雄一郎

株式会社京王設備サービス 取締役社長 浅野 義行

京王電鉄株式会社
代表取締役社長社長執行役員 都村 智史

京浜急行電鉄株式会社 取締役社長 川俣 幸宏

株式会社小泉 代表取締役社長 長坂 剛

株式会社興建社 代表取締役 水島 隆明

コーザイ株式会社 代表取締役 貝沼 信和

株式会社講談社 代表取締役社長 野間 省伸

株式会社コバヤシ 代表取締役 小林 達夫

コンパッソ税理士法人 代表社員 内川 清雄

株式会社コトブキ 代表取締役社長 深澤 幸郎

株式会社コンサートサービス 代表取締役 佐藤 修悦

佐藤製薬株式会社 代表取締役社長 佐藤 誠一

三機工業株式会社 特別顧問 梶浦 卓一

山九株式会社 代表取締役社長 中村 公大

サントリーホールディングス株式会社
代表取締役社長 新浪 剛史

三洋貿易株式会社 代表取締役社長 新谷 正伸

ジューエルサイエンス株式会社 取締役社長 長見 善博

ジェネロ株式会社 代表取締役 竹内 大志

株式会社慈恵実業 代表取締役社長 石塚 雄三

澁谷工業株式会社 取締役社長 澁谷 英利

株式会社じほう 代表取締役会長 武田正一郎

清水建設株式会社 代表取締役社長 井上 和幸

株式会社集英社 代表取締役社長 廣野 真一

ショーボンドホールディングス株式会社
代表取締役社長 岸本 達也

新菱冷熱工業株式会社 代表取締役社長 加賀美 猛

株式会社ジャックス 代表取締役社長 村上 亮

株式会社ジンテック 代表取締役 柳 秀樹

杉山商事株式会社 取締役社長 杉山 健

住友ベークライト株式会社 代表取締役社長 藤原 一彦

株式会社スプリックス 代表取締役社長 常石 博之

全国保証株式会社 代表取締役社長 青木 裕一

第一倉庫株式会社 会長 小泉 駿一

株式会社泰秀 代表取締役社長 野口 通子

大正製薬株式会社 取締役会長 上原 明

大同生命保険株式会社 代表取締役社長 北原 睦朗

大日本除虫菊株式会社 代表取締役社長 上山 直英

大和製罐株式会社 代表取締役社長 山口 裕久

高砂熱学工業株式会社
代表取締役社長COO 社長執行役員 小島 和人

千歳コーポレーション株式会社
取締役社長 森岡 寛司

千代田化工建設株式会社
代表取締役会長兼社長 榊田 雅和

株式会社千代田テクノル 代表取締役会長 細田 敏和

塚本総業株式会社 代表取締役社長 塚本 素清

ディアンドデパートメント株式会社
代表 ナガオカケンメイ

DM三井製糖株式会社

学校法人帝京大学 理事長 沖永 佳史

株式会社T&Aマネジメント 代表取締役 長田忠千代

THK株式会社 代表取締役社長 寺町 彰博

株式会社電通 代表取締役 社長執行役員 樽谷 典洋

東亜建設工業株式会社 代表取締役社長 早川 毅

株式会社東急コミュニティー 取締役社長 木村 昌平

東京海上日動火災保険株式会社
取締役社長 広瀬 伸一

株式会社東京交通会館 代表取締役社長 興野 敦郎

東京都杉並区 区長 岸本 聡子

東京美装興業株式会社 代表取締役社長 八木 秀記

東洋熱工業株式会社 代表取締役社長 谷口 昌伸

戸田建設株式会社 代表取締役会長 今井 雅則

株式会社永田音響設計 代表取締役社長 小口 恵司
 株式会社永谷園ホールディングス
 代表取締役会長 永谷栄一郎
 株式会社ナミキ 代表取締役会長兼社長 並木 洋一
 日総工産株式会社
 代表取締役社長執行役員 兼 CEO 清水 竜一
 日鉄興和不動産株式会社 代表取締役社長 三輪 正浩
 株式会社ニフコ 代表取締役会長 山本 利行
 日本精工株式会社 取締役会長 内山 俊弘
 日本製鉄株式会社 代表取締役社長 橋本 英二
 日本電子株式会社
 代表取締役会長 兼 取締役会議長 栗原権右衛門
 日本パーカラィジング株式会社
 株式会社日本マイクロニクス
 代表取締役社長 長谷川正義
 株式会社ネイチャーズウェイ
 代表取締役社長 萩原 吉晃
 根本特殊化学株式会社 代表取締役社長 根本美恵子
 パイオニア株式会社
 代表取締役兼社長執行役員 矢原 史朗
 ハウス食品グループ本社株式会社
 代表取締役社長 浦上 博史
 株式会社博報堂 代表取締役社長 水島 正幸
 ハナマルキ株式会社 代表取締役社長 花岡周一郎
 パンパシフィック・カップパー株式会社
 代表取締役社長 堀 一浩
 阪和興業株式会社 代表取締役社長 中川 洋一
 東日本住宅株式会社 代表取締役 桃野 直樹
 非破壊検査株式会社 代表取締役社長 山口多賀幸
 ひびき・パース・アドバイザーズ
 代表取締役社長 清水 雄也
 株式会社ファミーユ 代表取締役 新庄眞帆子
 富国生命保険相互会社 代表取締役社長 米山 好映

富士急行株式会社 代表取締役社長 堀内光一郎
 富士テレコム株式会社 代表取締役社長 西田 孝一
 一般財団法人 藤本育英財団
 古河産業株式会社 代表取締役社長 伊藤 啓真
 合同会社ベルファーマシー 代表社員 前島 景子
 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
 ホッカンホールディングス株式会社
 代表取締役社長 池田 孝資
 株式会社ポニーキャニオン
 代表取締役社長 吉村 隆
 本田技研工業株式会社
 取締役 代表執行役社長 三部 敏宏
 株式会社牧野フライス製作所
 取締役社長 宮崎正太郎
 マネックスグループ株式会社
 代表執行役 松本 大
 株式会社丸井グループ 代表取締役社長 青井 浩
 株式会社丸の内よろず 取締役社長 中村 正博
 丸美屋食品工業株式会社 代表取締役社長 阿部豊太郎
 株式会社三井住友銀行 頭取CEO 高島 誠
 三井倉庫ホールディングス株式会社
 代表取締役社長 古賀 博文
 三井物産株式会社 代表取締役社長 堀 健一
 三井不動産株式会社 代表取締役会長 菰田 正信
 株式会社三越伊勢丹AIMファシリティーズ
 代表取締役会長 飯嶋 庸夫
 株式会社三越伊勢丹ホールディングス
 特別顧問 石塚 邦雄
 三菱HCキャピタル株式会社
 代表取締役 社長執行役員 久井 大樹
 三菱オートリース株式会社
 代表取締役社長 中野 智
 三菱ガス化学株式会社 代表取締役社長 藤井 政志

三菱地所株式会社 執行役社長 吉田 淳一
 三菱自動車工業株式会社
 取締役代表執行役社長 兼 最高経営責任者 加藤 隆雄
 三菱重工業株式会社 取締役社長 泉澤 清次
 三菱倉庫株式会社 相談役 宮崎 毅
 株式会社三菱UFJ銀行 頭取 半沢 淳一
 三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
 取締役社長 兼 グローバルCEO 小林 真
 武蔵商事株式会社 代表取締役 宇田川紀通
 明治安田生命保険相互会社
 取締役代表執行役社長 永島 英器
 株式会社明和住販流通センター
 代表取締役 塩見 紀昭
 メッドサポートシステムズ株式会社
 代表取締役 谷川ひとみ
 株式会社メディアグラフィックス
 代表取締役社長 我妻まどか
 株式会社メルコホールディングス
 代表取締役社長 牧 寛之
 森社会保険労務士事務所 所長 森 康之
 株式会社ヤクルト本社 相談役名誉会長 堀 澄也
 山崎製パン株式会社
 UBE株式会社 取締役会長 山本 謙
 ユウキフーズシステム株式会社
 代表取締役 田中 秀和
 横河電機株式会社
 米持建設株式会社 代表取締役 米持 大介
 リガク・ホールディングス株式会社
 取締役会長 志村 晶
 株式会社リョーサン
 代表取締役社長執行役員 稲葉 和彦
 株式会社Rings 代表取締役 矢部 和広

株式会社リンレイ 代表取締役社長 鈴木 信也
 株式会社LEOC 代表取締役会長兼社長 小野寺裕司
 株式会社レゾナック・ガスプロダクツ
 代表取締役社長 平倉 一夫
 株式会社レゾナック・ホールディングス
 代表取締役会長 森川 宏平
 ローム株式会社
 代表取締役社長 社長執行役員 松本 功

匿名5名

(2023年7月1日現在・50音順・敬称略)

パトロナージュで芳名

会田雅美	東京都	大塚宣夫	東京都	小林和夫	東京都	塚本幸夫	東京都	平田邦夫	神奈川県	山村隆絵	東京都
浅野純	東京都	大森京太	東京都	小林裕美	東京都	辻井厚	東京都	平林直哉	神奈川県	山本美高	東京都
朝吹英理	東京都	岡田尚史	東京都	小林容子	東京都	津田義久	東京都	平瀬晴子	神奈川県	川本直保	東京都
厚田俊彰	神奈川県	岡田雅司	東京都	小林見康	神奈川県	石角博之	東京都	広瀬茂	東京都	吉川美知	東京都
阿部荒井	東京都	岡田群弘	東京都	酒井五味	東京都	積田孝一	東京都	深沢英次	東京都	吉谷恵美	神奈川県
荒木康一郎	東京都	尾澤久洋	神奈川県	酒巻定形	東京都	d日本フィルの会	東京都	福田昭夫	東京都	吉村真幸	埼玉県
有江純子	神奈川県	尾上けい子	東京都	佐藤寛男	東京都	寺澤佳代	東京都	藤井裕一	東京都	吉村匡則	東京都
安西祐一郎	東京都	小野寺健一	岩手県	佐藤正昭	東京都	東京フロイデ合唱団	東京都	藤本由紀子	東京都	若林昭子	東京都
安藤光一	東京都	小幡尚孝	東京都	藤座間淑美	東京都	東瀨朗	新潟県	藤原真也	東京都	渡辺和子	東京都
飯田桂子	東京都	折田道生	東京都	澤井敏雄	神奈川県	時枝直満	東京都	古瀬明弘	東京都	渡邊久雄	東京都
飯田恵司	東京都	風間沙織	東京都	島田晴雄	東京都	徳田雄三	東京都	星桂太朗	神奈川県	直志裕	東京都
家近茂	東京都	賀澤裕三	福島県	清水幸雄	東京都	中尾誠利	神奈川県	前田圭一郎	千葉県	匿名42名	山口市
家近信子	東京都	鹿島英重	東京都	下河辺美知子	東京都	ナガオカケンメイ	東京都	牧野澄夫	東京都		
五十嵐重慧	東京都	片山英二	東京都	生島貴司	千葉県	中島奈穂	東京都	正木信汎	神奈川県		
池浦博	東京都	片山史子	東京都	新庄真帆	大阪府	長瀬雅則	東京都	増田文彦	東京都		
池野隆光	東京都	加藤壹康	静岡県	須賀会合唱団	東京都	中園和博	東京都	松尾信義	東京都		
池谷光司	東京都	加藤ひろみ	東京都	菅千太郎	神奈川県	仲西喜義	東京都	松本信美	神奈川県		
伊佐山志卓	千葉県	加藤頼宣	東京都	杉山浩明	東京都	中野琢夫	東京都	三木繁光	東京都		
石塚邦雄	東京都	加藤修	埼玉県	杉山昌子	神奈川県	中村禎郎	東京都	峯島輝男	千葉県		
石津秀博	神奈川県	金子貞夫	東京都	鈴木祐二	東京都	中本雄治	東京都	宮川裕二	兵庫県		
伊藤好彦	東京都	上條和子	東京都	関野公一	東京都	那須綾介	東京都	宮本雄二	埼玉県		
伊藤昌司	東京都	香川孝一	神奈川県	尾石通泰	東京都	新倉啓介	東京都	村上純子	埼玉県		
井上俊信	埼玉県	川畑義宏	東京都	仙野幸徳	東京都	西澤敬子	東京都	村上洋美	東京都		
井上浩良	東京都	河田治幸	神奈川県	染野延幸	東京都	西村醇子	東京都	持田泰	東京都		
岩瀬順子	静岡県	菅野和美	東京都	高井宏忠	神奈川県	日本フィルハーモニー協会	神奈川県	元永徹司	神奈川県		
岩田達明	東京都	喜多江篤嗣	東京都	高須幸雄	東京都	埼玉県	埼玉県	森川智之	神奈川県		
上野悦子	東京都	北村恵司	埼玉県	高田信喜	東京都	東京都	東京都	八木一敏	神奈川県		
植村昭三	神奈川県	北村明子	神奈川県	高橋信哲	東京都	東京都	東京都	矢倉剛彦	千葉県		
宇賀神潤	東京都	桐本隆郎	東京都	富知一郎	東京都	千葉県	千葉県	谷野典彦	東京都		
白井恒彦	神奈川県	草刈哲男	千葉県	田中稀一郎	東京都	千葉県	千葉県	山口幸仁	東京都		
内村和廣	東京都	久野朝子	東京都	田中博幸	東京都	千葉県	千葉県	山口達之	東京都		
江口麗子	東京都	倉谷宏樹	東京都	田中將介	神奈川県	千葉県	千葉県	山口みどり	東京都		
江口滋	神奈川県	栗原真知子	埼玉県	田辺三基	東京都	千葉県	千葉県	山越章弘	東京都		
大上二三雄	東京都	畔柳信雄	埼玉県	田村浩章	東京都	千葉県	千葉県	山下芳敏	長崎県		
大久保昇	神奈川県	好士崎稔子	東京都	塚本和久	東京都	静岡県	静岡県	山田敏之	長野県		
大島剛	埼玉県	胡口靖夫	東京都			東京都	東京都		北海道		
大竹広明	神奈川県					東京都	東京都		神奈川県		
太田五郎	神奈川県					東京都	東京都				
太田達男	千葉県					東京都	東京都				

(2023年6月15日現在)
50音順・敬称略

◆ 新入団員紹介 ◆

新入団員に10の質問!

コントラバス

森田 麻友美 MORITA Mayumi

コントラバス・セクションに新たに入団いたしました森田麻友美をご紹介します。



- | | |
|-----------------------------|-------------------------------------|
| 1 誕生日 | 1月28日 |
| 2 私はこんな人 | 人と比べず自分に合ったペースやルーティンを大事にする |
| 3 楽器を始めたきっかけ | 3歳からヴァイオリンを習い始めたのがきっかけです |
| 4 音楽家になっていなかったら? | 小学校の夢はバレリーナになる事でした |
| 5 時間があったら何をしたい? | 時間をかけて地道に何か創り上げる事をしてみたいです。ジグソーパズルとか |
| 6 リラックス方法は? | 好きな友達と会って話をする事 |
| 7 好きな映画を教えてください | グリーンブック |
| 8 座右の銘があれば | 座右の銘の意味が分からないのでありません |
| 9 日本フィルに入団が決まった瞬間の気持ちを一言で | 迎え入れて頂きありがとうございます! |
| 10 ずばり、今のところ日本フィルはこんなオケだと思う | アットホームな空気 |
| 11 最後にお客様へのメッセージをお願いいたします | 会場の皆様とお会いできるのを楽しみにしております!! |

Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック

<https://members.tvuch.com>



Member's TVU CHANNELは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。

日本フィルの配信は1,000円で3か月間何度でも視聴いただけます(販売期間は6ヶ月です)。



まずはID登録! メールアドレスとパスワードのみで簡単!

- | | | | |
|---|-----------|---------------------------------------|-------------------------|
| 2月18日 | 九州公演(福岡) | 指揮: 広上 淳一 | ピアノ: 小林 愛実 |
| シヨパン: ピアノ協奏曲第1番 | | ベートーヴェン: 交響曲第7番 | |
| 3月3日 | 東京定期演奏会 | 指揮: 小林 研一郎 | ピアノ: 金子 三勇士 |
| リスト: ピアノ協奏曲第1番 | | ベートーヴェン: 交響曲第3番《英雄》 | |
| 3月11日 | 横浜定期演奏会 | 指揮: 藤岡 幸夫 | サクソフォン: 須川 展也 |
| 菅野祐悟: サクソフォン協奏曲《Mystic Forest》 | | チャイコフスキー: 交響曲第4番 | |
| 3月18日 | 芸劇シリーズ | 指揮: 鈴木 織衛 | 出演: SUPER BRASS STARS 他 |
| だったん人の踊り、宝島、Stardust 他 | | | |
| 3月25日 | さいたま定期演奏会 | 指揮: 小林 研一郎 | ヴァイオリン: 神尾 真由子 |
| シベリウス: ヴァイオリン協奏曲 | | ムソルグスキー(ラヴェル編): 組曲《展覧会の絵》 | |
| 4月29日 | 東京定期演奏会 | 指揮: ピエタリ・インキネン | ソプラノ: ヨハンナ・ルサネン |
| バリトン: ヴィツレ・ルサネン | | 男声合唱: ヘルシンキ大学男声合唱団、東京音楽大学 | |
| シベリウス: 《クレルヴォ交響曲》 | | | |
| 5月12日 | 東京定期演奏会 | 指揮: カーチュン・ウオン | チェロ: 佐藤 晴真 |
| ミヤスコフスキー: 交響曲第21番《交響幻想曲》 | | 芥川也寸志: チェロとオーケストラのための《コンチェルト・オスティナート》 | |
| ヤナーチェク: シンフォニエッタ | | | |
| 5月19日 | さいたま定期演奏会 | 指揮: ピエタリ・インキネン | ヴァイオリン: 成田 達輝 |
| シベリウス: 交響詩《フィンランディア》、交響曲第2番 | | ベートーヴェン: ヴァイオリン協奏曲 | |
| 5月21日 | 名曲コンサート | 指揮: ピエタリ・インキネン | ソプラノ: 森谷 真理 |
| アルト: 池田 香織 | | テノール: 宮里 直樹 | |
| バリトン: 大西 宇宙 | | 合唱: 東京音楽大学 | |
| シベリウス: 交響詩《タピオラ》、ベートーヴェン: 交響曲第9番《合唱》 | | | |
| 6月9日 | 東京定期演奏会 | 指揮: 大植 英次 | ピアノ: 阪田 知樹 |
| プロコフィエフ: ピアノ協奏曲第2番、チャイコフスキー: 交響曲第6番《悲愴》 | | | |
| 7月7日 | 東京定期演奏会 | 指揮: 広上 淳一 | カニオ: 笛田 博昭 |
| ネッダ: 竹多 倫子 | | トニオ: 上江 隼人 | |
| ベッペ: 小堀 勇介 | | シルヴィオ: 池内 響 | |
| 合唱: 東京音楽大学 | | 児童合唱: 杉並児童合唱団 | |
| レオンカヴァッロ: 歌劇《道化師》 | | | |

サントリーホール

2023年 **9月1日(金)**19:00開演 プレトーク 18:30~ 両日ともマエストロによる
 2日(土)14:00開演 プレトーク 13:20~ プレトークあり!

バーミンガム市交響楽団 首席指揮者 山田和樹との
 ウォルトン第2弾エリザベス女王の戴冠式行進曲と共に

助成:  文化庁文化芸術振興費補助金
 (舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))
 独立行政法人日本芸術文化振興会

指揮: **山田 和樹**

モーツァルト:
 アイネ・クライネ・ナハトムジーク 長調 K.525

J.S.バッハ(齋藤秀雄編曲): シャコンヌ

ウォルトン: 戴冠式行進曲《宝玉と勺杖》

ウォルトン: 交響曲第2番

©Zuzanna Specjal

1回券料金 S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C 完売 P ¥4,000 Ys (25歳以下) ¥1,500

※障害者手帳をお持ちの方は割引がございませので、サービスセンターにお問い合わせください。

次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー!

山田 和樹 編

聞き手 林田 直樹

—モーツァルト、バッハ、ウォルトン…一風変わった曲の並びですね。

僕の中では整合性があるんですよ。基本的には全部舞踊系の音楽なんです。「交響曲第2番」の中のパッサカリアも含めてね。

—ウォルトンは他のイギリス音楽の作曲家と比べると、オーケストラ音楽の無類の使い手というイメージがあります。R.シュトラウスとある意味近いのでは?

華やかで、とにかくオーケストレーションがうまい。エルガーをさらに色彩豊かにした感はあるかな。ドイツ音楽の継承者でもあるし、フランスの影響も感じます。メロディアスでインパクトのあるものも書けるし、入り組んだものも書ける。能力を持て余していた

のではないかと。すごいいろんな引き出しを持った人でした。

—イギリス音楽の中ではどう位置づけられるでしょうね。例えばヴォーン・ウィリアムズだったらイギリスの民謡を集めた人だし、エルガーだったらロマン派の体質が濃厚で格調高い人。じゃあウォルトンは?

商業主義を背負った人ですね。本当は現代曲よりのぐちゃぐちゃなものもかけたんだけど、やはり演奏会に人が来なければ、売れなければ意味がない。そういう大衆性をすごく意識していたんだと思います。それから本人は戦争のことを言いますよね。「戦争によって人生が変わった」と。あとは、もっと真面目な人かと思いきや、無類の女好き。出会ったその日にプロポーズしちゃったりとか。

—確かに女性を口説いてるような感じの綺麗な曲をいろいろ書いていますね。ギターのための「5つのバガテル」とか。

情熱の人。ひらめきの人だったし、熱がメラッとする人だったんでしょうね。

—でも緻密に計算した曲を書いているところが面白いですね。

やっぱりかっこいいものを作りたい…つまりファッション・デザイナーが新しい流行を生み出したり、新しい洋服を作るみたいにして、いろいろ綿密に考えてやっていく。ファッション性ってすごくあると思う。ウォルトンという人にも音楽にも。

—いいですね。キーワードは「商業主義」と「大衆性」と「女好き」と「ファッション性」ですか。ウォルトンはそういうものの価値を…

否定しない。それを早々に受け入れて成功した人です。

—特に現代音楽はエリート臭というか、大衆を蔑視する雰囲気があるような気がするんですが、その大衆をちゃんとリスペクトする。だから商業主義を…

もう認めようよっていう風に、開き直ったんだと思います。

—だから、「スピットファイア」みたいな戦闘機の音楽も、わーかっこいいと素直に思っちゃう。「戴冠式行進曲」もゴージャスで気持ちいいですし。

そこら辺がまさしく大衆性。ウォルトンは他の20世紀の作曲家と比べると、もう少し「人に優しい」と思いますね。押し付けがましく啓蒙もしなければ教育もしない。だけどこんな音楽もお好きじゃない?こっちにたまには来てみたら?と。オープンカフェみたいな感じですよ。

—オープンカフェ、いいですね。どんな思想を持った人間でも、あるいは何も考えていない人でも考えている人でも全部ウェルカム。それが逆に言うとウォルトンの思想なのかもしれないですね。

まさしくそう。押し付けがましくしない。受け入れるものは受け入れる。

—そういう意味で、このプログラムの最初の「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」につながるんですね。

単純に楽しく演奏できればいいんですけどね。でもなかなか難しいんですよ。

—ちなみに、「シャコンヌ」を齋藤秀雄編曲にした理由は?

桐朋には芸大のいい意味でのずっとライバルでいてほしいんですよ。僕からのエールですね。あとはバッハも今後もっと勉強したいというのもあって。いつかは「マイ受難曲」もやりたいし、避けて通れませんから。

2023-24シーズンから金曜定期もプレトーク「本日の聴きどころ」開催

これまで土曜限定だったプレトーク「本日の聴きどころ」を、好評につき2023年9月より東京定期演奏会の金曜日にも開催いたします。

金曜 NEW

- 18:20 開場
18:30 プレトーク開始
18:45 プレトーク終了
19:00 開演

土曜

- 13:10 開場
13:20 プレトーク開始
13:35 プレトーク終了
14:00 開演

テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組『Welcomeクラシック』BS朝日 毎週水曜日22:54～23:00(第3週、第4週は再放送)。4月からは広上淳一マエストロも登場ぜひご覧ください!

本日の公演は終演時のカーテンコールでの写真撮影が可能です。

携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のまま撮影をお願いいたします。フラッシュ、動画撮影はお控えください。詳しくは会場の掲示をご覧ください。

プレトーク「本日の聴きどころ」

東京定期演奏会の土曜日は、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。今回はマエストロ広上淳一の登場です。土曜日13:20～

定期会員券ご寄付のお願い

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

6月の東京定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。

(50音順・敬称略) 根本 直之、匿名2名

ご寄付の方法

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。

※公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。※会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願い致します。※ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送致します。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願い致します。

日本フィル・サービスセンター 〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1 TEL: 03-5378-5911(平日10時～17時) FAX: 03-5378-6161(24時間) E-mail: order-ticket@japanphil.or.jp

門脇大樹氏 ソロ・チェロ就任

9月より門脇大樹氏をソロ・チェロとして迎えることになりました。9月から新たな体制でより充実した演奏をお届けしてまいります。



《メッセージ》

この度、ソロ・チェロに就任させていただき門脇大樹です。日本フィルの様な歴史あるオーケストラで演奏できる事をとても光栄に思います。

これから日本フィルの一員として演奏を重ねる中で、更なるオーケストラの発展に貢献できる様自分なりに最善を尽くしたいと思います。

どうぞよろしくお願ひ致します。

もうすぐ発売

2023年7月13日(木) 発売

第402回名曲コンサート

2023年10月22日(日) 14:00開演
サントリーホール

指揮:カーチュン・ウォン[首席客演指揮者]
ピアノ:亀井 聖矢

シヨパン:ピアノ協奏曲第1番
ブラームス:交響曲第1番

Table with conductor and principal players information: 創立指揮者 渡邊 暁雄, 首席指揮者 ピエタリ・インキネン, etc.

Table with orchestra members: ソロ・コンサートマスター 扇谷 泰朋, ヴィオラ 安達 真理, etc.

Table with staff information: 楽団長 中根 幹太, チーフステージマネージャー 阿部 紋子, etc.

Table with administrative staff: 理事長(代表理事) 平井 俊邦, 副理事長(代表理事) 五味 康昌, etc.

Table with communication and management staff: コミュニケーションディレクター マイケル・スベンサー, マネジメント・スタッフ 浅見 浩司, etc.

Table with friends and supporters: 団友: 青柳 哲夫, 新井 豊治, etc.

チケットお申込・お問い合わせ

〔日本フィル・サービスセンター〕

TEL.03-5378-5911(平日10時~17時)

eチケット▶ <https://eticket.japanphil.or.jp>

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1 TEL.03-5378-6311

<https://japanphil.or.jp>



公式Twitter
@Japanphil



公式アカウント



「Welcome クラシック」

毎週水曜日 22:54~23:00 放送中!!